

製品名: リン酸化 B23 (Thr199) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00844**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

抗原情報

遺伝子名	NPM1
別名	B23; NPM
遺伝子 ID	4869
SwissProt ID	P06748
免疫原	抗血清は、Thr199 のリン酸化部位周辺のヒト NPM 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

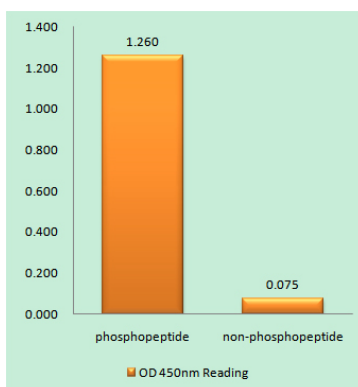
リボソーム生合成、中心体複製、タンパク質シャペロン、ヒストン組み立て、細胞増殖、腫瘍抑制因子 p53/TP53 および ARF の調節

など、多様な細胞プロセスに関与しています。リボソームに結合して、おそらくリボソームの核外輸送を促進します。核小体のリボ核タンパク質構造に関連し、一本鎖核酸に結合します。コアヒストン H3、H2B、および H4 のシャペロニンとして機能します。アプリン/アピリミジン (AP) 二本鎖 DNA に対する APEX1 エンドヌクレアーゼ活性を刺激しますが、AP 一本鎖 RNA に対する APEX1 エンドヌクレアーゼ活性は阻害します。rDNA 上の AP の修復と酸化 rRNA 分子の除去を行う核小体内の APEX1 エンドヌクレアーゼ活性を制御する可能性があります。BRCA2 と連携して、中心体複製を制御します。中心小体複製を制御する： PLK2 によるリン酸化は中心小体複製を誘導する。EIF2AK2/PKR の活性化を負に制御し、EIF2AK2/PKR の自己リン酸化を阻害することでアポトーシスを抑制する。ATF5 による細胞増殖阻害作用に拮抗し、ATF5 誘導性の G2/M 期遮断を軽減する (PubMed:22528486)。MYC と複合体を形成することで、MYC 標的遺伝子の転写を促進する (PubMed:25956029)。

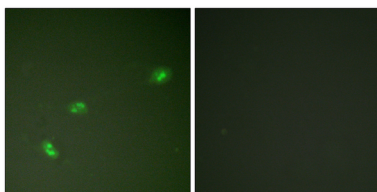
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

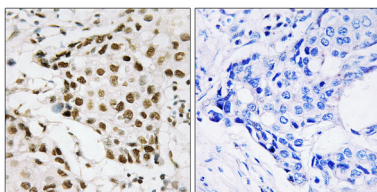
画像データ



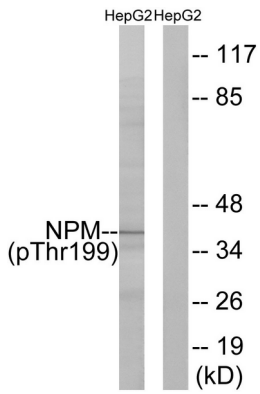
リン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) に対する酵素免疫測定 (リン酸化 ELISA)、NPM (リン酸化 Thr19 抗体) 使用



EGF 処理した HeLa 細胞におけるリン酸化 B23 (Thr199) の免疫蛍光染色。リン酸化 B23 (Thr199) 抗体を用いた。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした。



リン酸化 B23 (Thr199) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。



Phospho-B23 (Thr199) 抗体を使用した HepG2 溶解物中の Phospho-B23 (Thr199) のウェスタン ブロット分析。右側のレーンは合成ペプチドでブロックされています。